

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	旧盛岡競馬場跡地整備に係る調整事務			事業コード	44
所属コード	123000	課等名	企画調整課	係名	計画係
課長名	古舘 和好	担当者名	山本 健太	内線番号	3816
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード	4
	基本事業	公共空間の緑化推進	コード	2
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 6 目 旧盛岡競馬場跡地整備事業 (001-04)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 10 年度	
根拠法令等				

### (2) 事務事業の概要

整備スケジュールや用地買戻しの進行管理、跡地の維持管理など旧盛岡競馬場跡地整備の推進に係る各種調整を行う。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 8 年 4 月に新庄字八木田地区に新競馬場がオープンしたことから、上田字堤頭外地内にある旧競馬場の跡地利用について検討を始め、平成 10 年度に「旧盛岡競馬場跡地利用計画」を策定し、13 年度に「旧盛岡競馬場跡地整備基本設計」を取りまとめ、旧競馬場跡地全体（約 21 ヘクタール）のうち、市街化調整区域（約 17 ヘクタール）を対象に整備を進めることとした。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

跡地利用に係る市の対応、利用計画、用地取得等について、市議会で多くの質問（21 年 6 月定例会：今後の土地取得計画と暫定開放について、同年 6 月定例会：進捗状況について、22 年 3 月定例会：道路部分の土地取得状況及び整備計画について）が出されている。また、地元町内会をはじめ、市民や各種団体からも、跡地の利用について要望や意見が寄せられている。

各ゾーンにおける整備事業の進捗により、各種調整業務及び維持管理業務は縮小が見込まれる。また、跡地は市街化調整区域となっており、公共的施設整備であっても原則として開発許可が必要であることから、自由広場ゾーンほか未整備部分の活用に係る制約が大きくなっている。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

- ・旧盛岡競馬場跡地
- ・関係機関，関係課，地元町内会など協議説明対象機関及び団体

## (2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 整備対象面積	ha	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1
B 取得が必要な用地残面積	ha	4.4	4.2	4.0	4.0	2.2
C 協議等対象機関・団体数	機関・ 団体	26	25	24	26	22

## (3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ・関係課及び外部関係機関との調整
- ・地元町内会等への事業説明
- ・用地買戻しに係る財産取得事務
- ・跡地管理事務（除草等）
- ・整備スケジュールの見直し
- ・自由広場ゾーン整備に係る詳細検討

## (4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 用地に関する協議交渉回数	回	32	18	10	16	10
B 整備に関する協議回数	回	25	17	20	33	20
C 地元への説明回数	回	14	4	5	16	5

## (5) 意図（対象をどのように変えるのか）

公園ゾーンや環境ゾーンなどの各ゾーンの整備事業が円滑に行われ，跡地利用の具体化が進むようにする。

## (6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 取得済用地面積	■上げる □下げる □維持	ha	11.9	12.1	12.3	12.3	14.1
B 立地施設等整備内容が具体化した面積	■上げる □下げる □維持	ha	11.9	17.1	17.1	17.1	17.1
C	□上げる □下げる □維持						

## (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	1,127	74	1,552	111
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	1,127	74	1,552	111
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	450	500	500	500
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,800	2,000	2,000	2,000
計	トータルコスト A+B	千円	2,927	2,074	3,552	2,111
備考						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

#### ① 施策体系との整合性

公園ゾーンを中心とした跡地利用の具体化は、公園緑地を増やすことに結びつく。

#### ② 市の関与の妥当性

市が策定した跡地利用計画の推進に係る事業であり、妥当である。

#### ③ 対象の妥当性

整備対象面積は、各ゾーン（公園、保健・福祉、環境、ミニバスターミナル、自由広場及び道路）で構成されており、現状で妥当である。また、取得に必要な用地残面積は、盛岡広域土地開発公社の所有地である。

#### ④ 廃止・休止の影響

全体調整に係る事務であり、現状で妥当である。

### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

自由広場ゾーンの整備を進めることで、成果の向上が図られる。

### (3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定の受益者は存在しないため、現状で妥当である。

### (4) 効率性評価

除草等の跡地の維持管理経費のみであり、その他の事業費は計上されていないため、削減の余地はない。

また、自由広場ゾーンの整備について、今年度以降は整備担当課が行うこととなることから、当事業は財産取得事務等の全体調整事務のみとなり、業務時間数の削減が見込まれる。

## 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

### (1) 改革改善の方向性

旧盛岡競馬場跡地整備に関する調整を通じ諸問題の解決に努め、整備が計画的に行われるようにする。

### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

複数のゾーンで整備が行われていることから整備工程や整備手法についての課題があり、基盤整備担当課等と十分な調整を行い、整備を進めていく必要がある。

## 5 課長意見 . . . . .

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

競馬場跡地の保健福祉ゾーン、公園ゾーン、環境ゾーン、自由広場ゾーン、ミニバスターミナルゾーンの全体整備の進行管理等を行うため、関係課、関係機関との調整や地元町内会への説明等を行った。

自由広場ゾーンについては、24年度の基本計画、25年度の実施計画、26年度からの整備に円滑につなげていく必要があることから、整備担当課と適切に連絡を取りながら、整備手法の検討を行う。